



議会だより

かつらぎ

Gikai 2023.11 (令和5年)

発行／和歌山県かつらぎ町議会
編集／議会だより編集特別委員会

99号



かつらぎ町パークゴルフ協会さくら会 月例会にて

主な内容

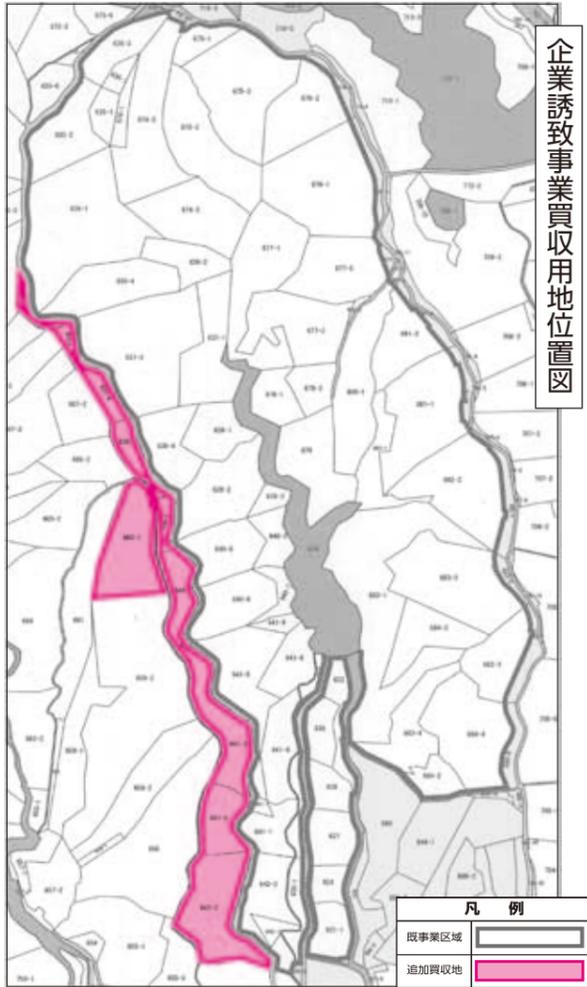
笠田中ほ場整備跡地の用地買収が進む 2ページ

西部公園北側整備工事がスタート 4ページ

子ども(中学生・高校生)議会開催 12ページ

一般質問 町民のおもいを届ける60分 15ページ

笠田中ほ場整備跡地の 用地買収が進む



問 なぜ用地を企業ではなく町が追加買収するのか。物件補償額が多いのはなぜか。

産業観光課長 事業用地に隣接する西側の土地1万3156㎡は、すでに買収を進めている土地と

同一の所有者であり、事業説明もスムーズに行えることから、町が買収することとなった。物件補償額が7400万円を超えるのは、果樹の立木補償が多いため。

内容 株式会社アファイブニスから用地（1万3156㎡）の追加開発の申し出を受け、8852万9000円の予算が組まれた。

さらに用地を追加買収

問 買えない土地は。産業観光課長 買えない可能性が濃厚なのは2件。北側西の土地約1万300㎡と、相続が困難な土地（同意見通し）1件。それ以外は地権者の同意を得て買収できる予定。

00㎡と、相続が困難な土地（同意見通し）1件。それ以外は地権者の同意を得て買収できる予定。

内容 笠田中の元農地造成地に総合リゾート施設を建設するための企業誘致は、令和5年度中に用地（13万3303㎡）を買収しようとしている。ただし地権者39人のうち、買収困難な用地が2件出ている。

用地確保の見通しは

一般会計補正予算

9月会議では、固定資産評価審査委員会委員の選任や人権擁護委員候補者の推薦、放課後児童健全育成事業と家庭的保育事業の安全管理の徹底に係る規定の新設などの条例改正と、各会計の補正予算を審議し、全員賛成で可決した。

また、令和4年度各会計決算認定が提出され、決算審査特別委員会を設置し審査することにした。

9月会議

9月会議(8/28~9/15)	
専決処分	1件
人事	2件
補正予算	9件
決算	11件
条例	5件
契約	2件
事件議決	2件
諸報告	2件
意見書	2件
一般質問	7人

企業誘致による効果

- ・総合リゾート施設における400人の雇用
- ・年間観光客100万人の流入

事業予定

- ・事業用地の買収 令和4年度～5年度
- ・農地の転用手続き 令和4年度～6年度
- ・事業者への用地売却 令和7年度
- ・事業者による施設整備 令和7年度

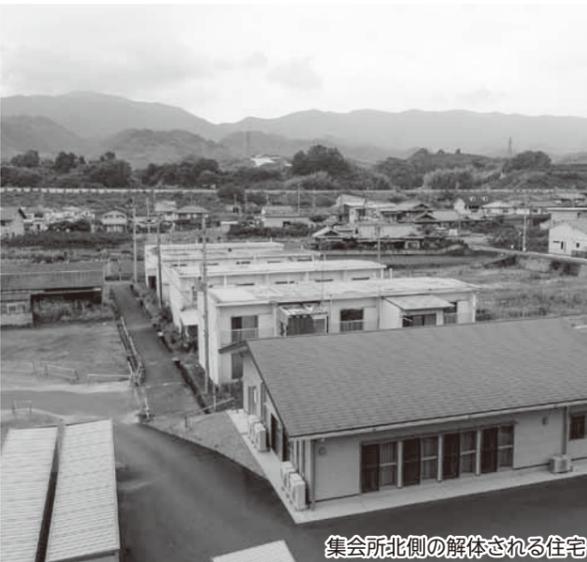


京奈和自動車道付近から見た総合リゾート施設建設予定地(笠田中)

問 駐車場用地の一部が売買の契約に至らなかった。別の場所に駐車場の用地を確保するのか。

町長 9月7日に事業者と協議をし、本町が確保できなかった土地は、今後事業主において考えてもらい、一定の条件で本町が確保できた土地を提供することで、事業は継続することを確認した。

妙寺団地の解体工事 アスベスト除去



集会所北側の解体される住宅

問 工事費5160万円のうち、アスベスト工事の費用は。また、アスベストの危険度は。

管財情報課長 アスベスト除去の費用は工事費の約半分、除去工事は10戸の住宅の外壁。内装は専門業者と協議を行い、調査費用と比較した結果、今回は「みなし」（アスベストが使われていることを想定）で行う。危険度は3段階で一番軽いレベル3。

内容 妙寺団地の第3期除却工事を年度内で実施する。今回の除却件数は22戸。この工事が終われば、令和7年度に5号館を建設する。その後は、南側にある木造の町営住宅の解体工事を残すのみとなる。

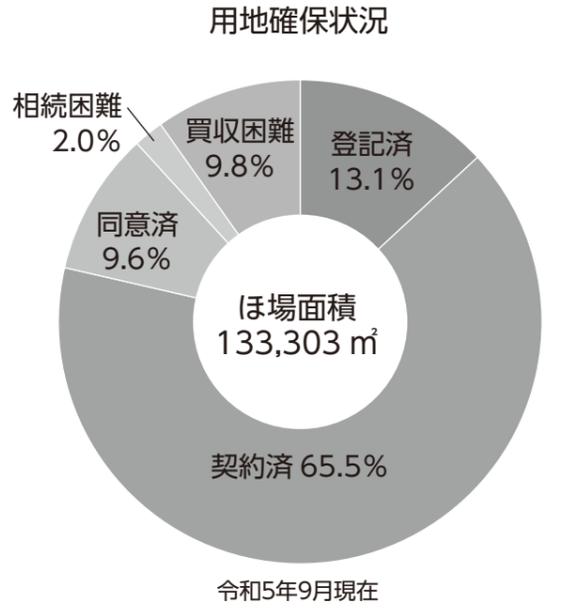
工事請負契約

渋滞対策に工夫を！

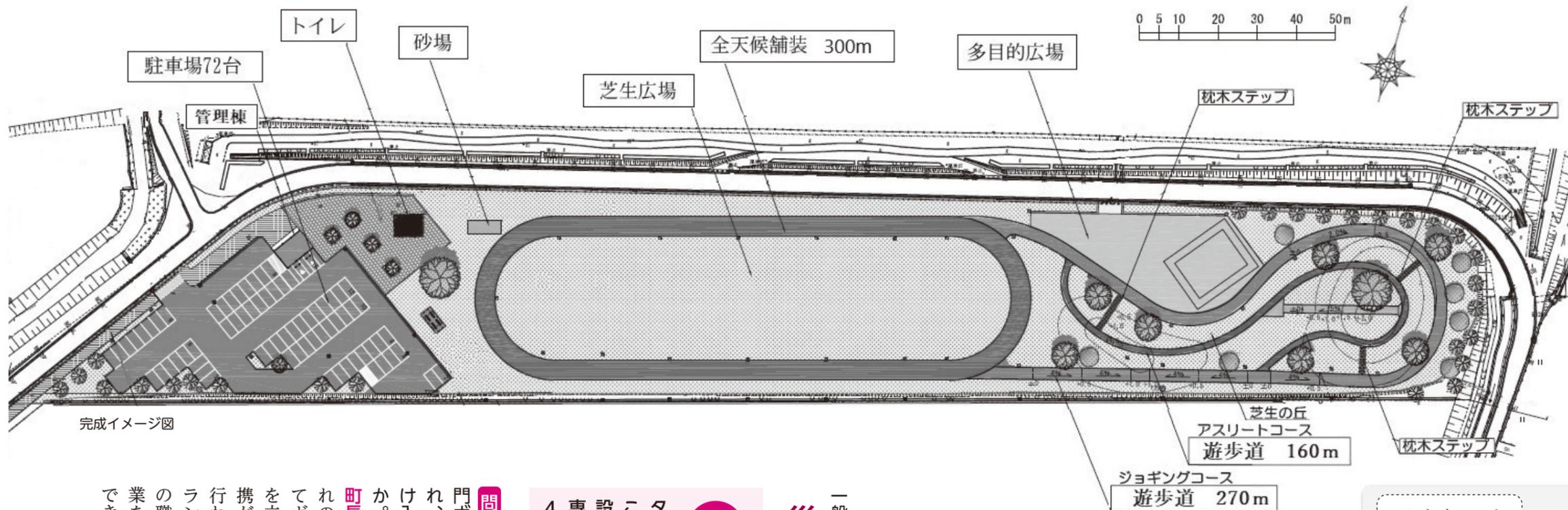
周辺道路の渋滞が一番の心配です。公共交通での来場者にポイントバックや割引等の施策があればと思います。



萩原 和男 さん



西部公園北側整備工事がスタート!!



完成イメージ図

内容 西部公園は、今年度末に工事の完成を目指してきたが、国費が削られたので5500万円程度工事ができなくなった。国に対し秋に追加補正を要望するが、補助金交付が令和6年度になると、供用開始が令和6年度以降になる。

工事請負契約
健康増進と地域交流を図る

問 どの部分の工事ができなくなるのか。
建設課長 駐車場の整備と、遊歩道の舗装を延期せざるを得ない。



短野
いけだ
池田
ちか
智佳さん

ともうれしい!
いろんな年代の人たちが楽しめる公園。オープンが待ち遠しいです。



問 学童保育のマイクロバスには安全装置が付いているのか。
教育総務課長 義務となっていないので付いていない。
問 義務でないから付けないではなく、今後付けては。
教育次長 今後協議して進めていきたい。

内容 学童保育の安全管理の基準が改められ、「安全計画」と自動車運行時の子ども所在確認、感染症や非常災害の発生時における「業務継続計画」の作成が義務付けられるようになった。

子どものさらなる安心安全を目指して

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

具体的な対策を協議している。
問 指定管理者の代表者と、町長はじめ教育長が定期的に懇談し、子どもたちの安心安全をさらに高めては。
教育長 今後取り組みたい。
町長 現場でお互いが課題を整理することが重要で、さらに代表者と協議も大事。先般も子ども園の指定管理者と懇談したので、機会をとらえて懇談したい。

一般会計補正予算

災害ボランティア

内容 本年6月2日～3日の豪雨災害を受け、職員で被災家屋の調査に動いた。6月5日は社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを開設。県内外からボランティアを募集したところ多くの参加があった。6月5日～8月20日の開設期間に一般ボランティアの参加は延べ157人、専門的な技術と知識を持つ専門ボランティアは延べ440人。



ボランティア受付



東波田
かなざわ
金澤
かんじ
完治さん

多くの人が助けられた
猛暑の中、床下の泥を掻き出す作業を黙々と進めてくださったことと、皆さんの奉仕の精神に感謝以外ありません。

問 町にたくさん専門ボランティアが来てくれ、住民がスムーズに受け入れてくれたのはなぜか。
町長 県外からの受け入れの仕組みも必要と考えてボランティアセンターを立ち上げ、社協との連携が最初からスムーズに行われた。また、専門ボランティアからは「社協の職員の対応が良く、作業を継続的にすることができた」と話してくれた。



ボランティアの皆さまへ

どの作業も進まず疲弊。社協と皆さんが来てくれた。前向きになろう!と折れた心が奮い立った。本当に感謝です。



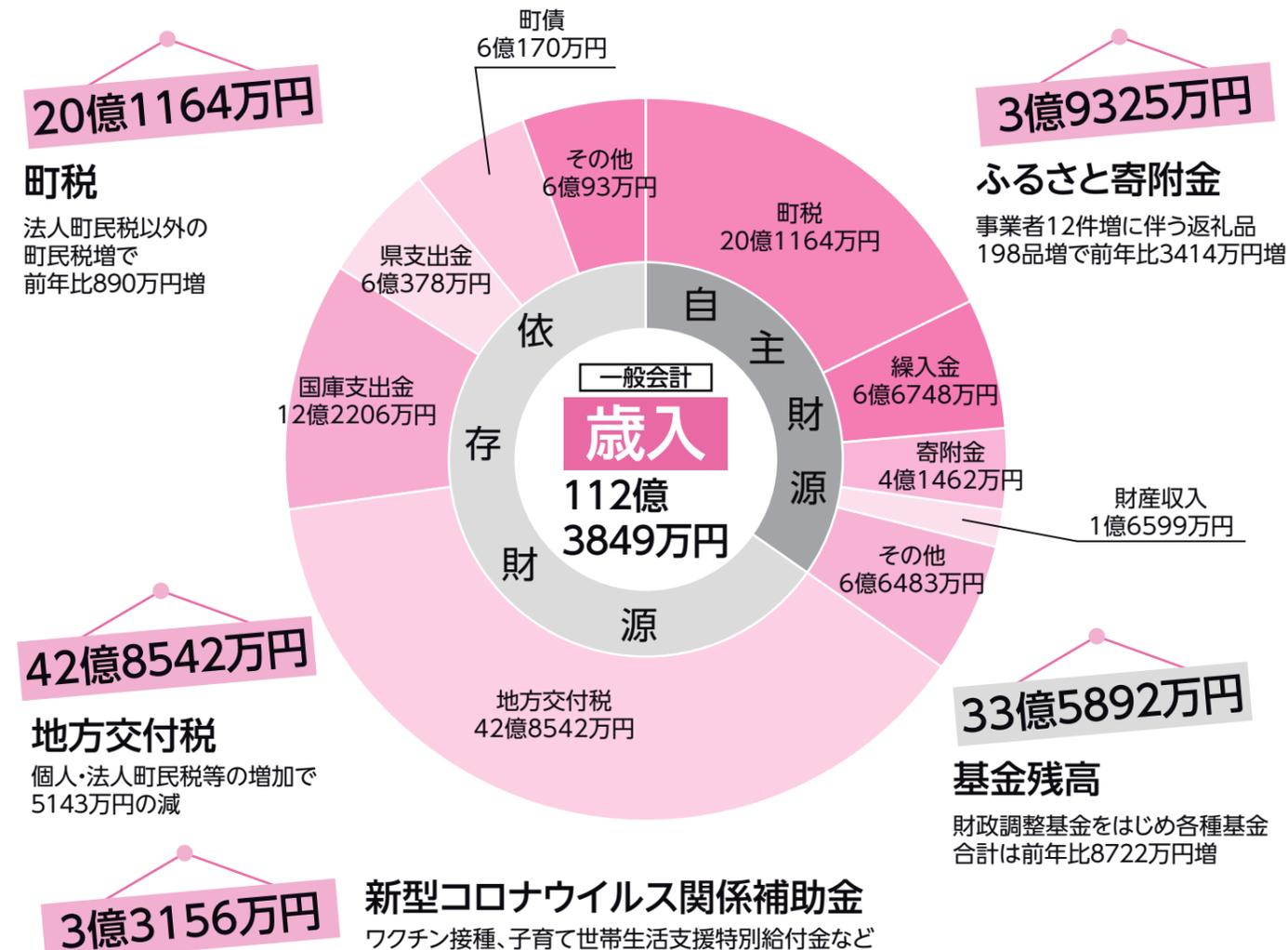
志賀
もりもと
森本
ゆき
由季子さん

議会を傍聴して

選挙の投票のときに、公約だけ見て投票する人を決めていたのですが、こういう一般質問を聞いた上で次回からは投票したいと思いました。(20代女性)

議会を傍聴して

実際に議会を拝見したことで、日本の政治がどのように行われているかについてよく分かり、とても勉強になりました。(20代女性)



令和4年度決算

9月会議に各決算議案が提出された。一般会計の特徴を紹介する(万円未満は切り捨て)。

財政は良好

ふるさと寄附金増
基金残高増



学校給食費無償化による子育て支援事業

小中学校における給食費の保護者負担分の無償化

1億4446万円



妙寺団地建替事業

建て替えに伴う除却工事

1億7975万円

1億9227万円



かつらぎ町応援クーポン券発行事業

町民全員に2回(1万1000円)のクーポン券を配布

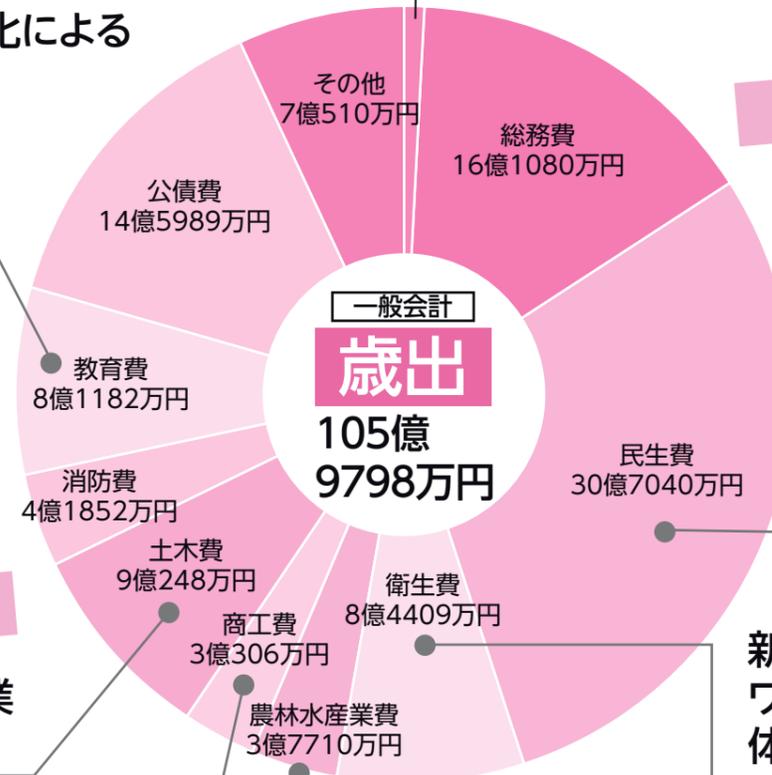
議会費9467万円



4552万円

学童保育施設運営事業

笠田・妙寺学童保育施設の運営委託費で、兄弟同時利用の第2子以降利用者負担額を2分の1減免



新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

6カ月児以上の町民に初回および追加接種(3・4・5回目)を実施

6416万円



1027万円

農村地域防災減災事業

14池の劣化および豪雨による決壊の危険性を評価



6月第2回・7月・9月会議採決状況 (賛否が分かれた議案は1件)

件名	議員名 結果	議員名													
		溝北	松岡	東芝	大原	浦中	新堀	藤本	中谷	羽根	滝上	山下	表具	大山	
6月第2回会議 9月会議	災害甲慰金の支給等の条例改正および一般会計補正予算(第6号)	12対0で可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計補正予算(第7号)	10対2で可決	-	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
9月会議	既存条例の見直しの条例制定など5件、工事請負契約2件	12対0で可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	財産の取得2件、令和4年度水道・下水事業会計未処分利益剰余金の処分	11対0で可決	-	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般会計補正予算(第8号)など9件	10対0で可決	-	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	
	普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める請願書および意見書	10対0で可決	-	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	
後期高齢者医療保険料に関する陳情書および意見書	10対0で可決	-	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	

(注) 溝北好一議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席

議会を傍聴して

実際に足を運ぶのは大変なので、ライブ配信をしてくれているのありがたいと思いました。(20代女性)



空から見た丹生都比売神社

かつらぎ町を

世界にPRへ

6月第2回
会議
7月会議

6月第2回会議 (6/29~7/3)	
補正予算	1件
条 例	1件
7月会議 (7/28~8/3)	
補正予算	1件

一般会計補正予算

内容

観光庁の補助金を受け、夢洲新産業・都市創造機構等の協力を得て、海外富裕層向け（2組8人）の1泊2日モニターツアーを実施する（予算は770万円、内訳は国費550万円、町費220万円）。内容は、関空からヘリコプターで天野に移動、丹生都比売神社の特別参拝と天野での宿泊、高野山観光、天空の特別で難波に帰阪するもの。

問

一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構とはどのような組織なのか。産業観光課長補佐 万博後もIRが核となり、発展を可能とするために、産学公が連携し未来都市を創造する目的で設立された組織。

問

夢洲機構に参加するということは、IRカジノに賛成なのか。

町長

海外からの富裕層を呼び込んでいく。一定の合理性がある。

問

「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成事業」の事業目的は。

町長

発信力のある各国の富裕層に本町の良さを知ってもらい、情報を発信してもらおう。そのことから本町にある宿泊・食事・交通・体験などの資源に磨きをかける。



古い建物が残る矢和街道 (旧伊都銀行)



中飯降 うえにし 上西 ネリーサ さん

コミュニティ設立を

外国にルーツを持つ人にとっては気軽に集まり、つながりや情報交換ができるコミュニティが町内に欲しいです。

討論

賛否が分かれる

《反対》東芝弘明議員

時代認識が問われる。国費550万円、町費220万円の原資は全て税金。町民税分92人分に当たる770万円で富裕層8人をおもてなしする事業には反対。

《賛成》山下慎二議員

一般会計補正予算は、地域振興交流施設の修繕および観光振興に関するもの。商品の衛生管理、富裕層向けの観光コンテンツの対応が必要であり、振興交流施設および観光事業が安定的に運営されることを願う。

《賛成》大原清明議員

丁寧な説明、また資料を出す方向でもらいたいが、新しい事業で期待しているので、頑張っていたきたい。

総務産業常任委員会

請願第1号は
全員賛成で採択

7月11日、8月30日委員会開催。

6月会議で当委員会に付託された請願第1号「日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める請願書」について、まず、紹介議員から請願者である「コドソラ」の活動状況や普天間基地の歴史的な背景などの説明を受け、自由討議を経て採決を諮った。委員からは「請願者は基地周辺の幼児と児童の保護者の団体であり、内容もおかしい点もない」「有機フッ素は、日本全国にあり沖縄だけの問題でない」との意見があった。審査の結果、全員賛成で採択すべきと決した。

災害時の被災者支援、議会体制等の視察研修を8月8日～9日に予定していたが迷走台風により延期となった。



普天間基地



藤本 憲一 委員長

6月の豪雨災害を教訓に災害対応マニュアル作成および議会BCPを早急に策定します。

厚生文教常任委員会

三谷・佐野
こども園を視察

7月13日、8月10日・31日
委員会開催。

8月10日に、三谷・佐野こども園を視察した。病気への対応、施設の現状（暑さ対策や防犯カメラ設置）など管理者および職員から説明を受けた。保育料無償化により、入園者が増加傾向にあるため、職員数の確保や処遇改善（報酬・業務軽減化）への取り組みは喫緊の課題であることが分かり、今後も慎重に注視していきたい。

また、6月会議で当委員会へ付託された「後期高齢者医療保険料に関する陳情書」は、担当課から2回説明を受け、8月の委員会で審議し、全員賛成で採択すべきと決した。



かつらぎ福祉会との意見交換会



大原 清明 委員長

2つの子ども園に伺い、現場を視察できたことで意見交換会も大変有意義な時間になりました。

広報広聴特別委員会

住民懇談会の 実施に向け話し合い

7月27日、9月12日委員会
開催。

7月27日、住民懇談会実施に向けた話し合いを行った。実施内容や開催回数、実施時期、懇談の申し入れ先などを話し合い、9月6日の議員全員協議会で報告した。

9月12日は議員全員協議会で出された意見をもとに、懇談会の申し入れや内容についてさらに協議をした。また、議会だより99号に掲載する議会モニターから寄せられた意見の編集を行った。町当局から紙の広報折込物の削減について提案（要請）があり話し合いを行い、来年度の議会モニター募集案内の全戸配布は行わないこととなった。



新堀 行雄 委員長

住民懇談会の実施に向け、一歩ずつではありますが委員会で話し合いを進めています。



庁舎建設調査検討特別委員会

住民サービスの 拠点となる庁舎を

8月28日委員会開催。

議会での庁舎建設の審議がスタート。第1回目は、委員全員で共通理解するため、今日までの庁舎建設の経過報告を町長はじめ関係者から受けた。

町長の諮問機関「かつらぎ町庁舎建設検討委員会」が総合文化会館西側の移転候補地を白紙とする決定から、候補地を大谷集荷場と選定しJ A関係者と協議するも白紙となる経過説明を受けた。

今後の進め方として、庁舎の機能、財政、建設方法、浸水想定区域、現庁舎の耐震、現庁舎を含めた候補地、まちづくりの拠点、御坊市や岸和田市の取り組みなど多くの意見があった。

次回は、特別委員会の在り方、庁舎建設の構想などを審議予定。



松岡 宏行 委員長

町民にとって利用しやすい庁舎をさまざまなポイントから審査します。



老朽化した庁舎

長期総合計画調査検討特別委員会

調査の基本方向を確認

9月6日委員会開催。

今回、議会は、町の長期総合計画の策定作業と並行して、特別委員会を設置した。町による計画の検討と並行して議会が計画を検討するのは初めて。それだけに第1回の委員会では、検討する基本方針を確認することが重要だった。

長期総合計画案は、来年の3月に議案として議会に提出される。それまでの間、当委員会は、所管事務調査として、町の策定審議会に出された資料に基づいて、議員による自由な意見交換に基づく協議を行うことを確認した。同時に議会による提言をまとめ、町当局に提出することを確認した。



東芝 弘明 委員長

自由討議を通じて提言がまとまるかどうか。初めての試みになります。



委員会での議員協議

議会だより編集特別委員会

編集作業生き生き

7月20日、福岡県大刀洗町議会広報編集委員会を視察。

ここは全国コンクールで連続上位入選している町。大刀洗町議会は、印刷会社との橋渡しを議員が行っていた。また、編集会議以外に作業日が2日程度あり、委員長が全体を統括していた。編集に7日以上かかっていた(本町は5日程度)。編集時間が長く議員の負担も重いのに「レイアウト編集は楽しい」という1期目の議員の発言があった。図表やグラフ、見出しで見せる工夫などとともに、編集への誇りと生き生きした委員の姿があふれる視察だった。



大刀洗町議会の議場で



東芝 弘明 委員長

心一つに、大刀洗町議会のいいところを取り入れようとなりました。

3つの

特別委員会設置

庁舎建設調査検討特別委員会
議長を除く全議員12人で構成。

委員長 松岡 宏行
副委員長 滝ノ上万記

長期総合計画調査検討特別委員会
議長を除く全議員12人で構成。

委員長 東芝 弘明
副委員長 山下 慎二

決算審査特別委員会

総務産業常任委員会、厚生文教常任委員会から各3人を選出して構成。

委員長 山下 慎二
副委員長 大山 希世
委員 東芝 弘明
藤本 憲一

委員 羽根 祥起
滝ノ上万記

子ども(中学生・高校生)議会開催

町長 貴重な提案ありがとうございました



高校生が初参加
8月26日、子ども議会が開催された。笠田・妙寺中学校から各4人と笠田・紀北農芸高等学校から各2人、計12人が子ども議員として一般質問に挑んだ。また、両中学校から1人ずつ、2人が議長を務めた。11月号の「広報かつらぎ」に詳細記事。

妙寺中学校3年 中 琉成議長

笠田中学校3年 角田 真優議長



笠田中学校3年 雪谷 政宏議員

ピックアップ① 空き家放置等を防ぎ 人が集まる場所へ

問 町ではどのくらい空き家があり、その対策としてどのような取り組みをしているのか。

【企画公室長】 7月末時点で、外観の確認や実地調査から、空き家として可能性があると思われる物件の数は約820軒。
【建設課長】 取り壊し費用の一部を補助し、跡地の活用を推進する事業も実施している。

問 建物調査で利用されていない建物は、今後どのような取り組みをするのか。

【町長】 移住人口の増加につながることを期待できるので、提案のとおり、早急に実施していきたい。

問 本町では空き家バンクによる中古物件の売買が行われているが、そこに賃貸を追加するのはどうか。空き家や空き地などを、何もしいままで放置しないことが危険を回避し、人が集まる場所をつくるのが安全なまちにつながるかと考えるが。

【企画公室長】 活用できる可能性があるものは、所有者に空き家バンクへの登録のあっせんや、不動産業者への仲介を行っている。



妙寺中学校3年 北田 青葉議員

ピックアップ③ 公園を活用し人々の 交流を促す

問 町内にある公園やスポーツ施設は、どのような人がどのくらい利用されているのか。

【生涯学習課長】 主要な公園については、利用している人の年齢や年齢、住まいの地域等は把握できていないが、散歩やウォーキング、子ども連れのファミリーなど、利用者が多くいることは認識している。スポーツ施設は、西部公園パークゴルフ場で1万5597人。また、体育センターは1万1317人。かつらぎ公園グラウンドは2万8698人で、主

に中学校の部活動、スポーツ少年団および老人会による利用であった。

問 西部公園に子ども向けの遊具を設置してはどうか。

【町長】 西部公園には遊具は設置しないという取り決めがされているが、遊具が設置できない状況であるが、今後、機会をうかがいながら、橋本市と九度山町に働きかけて遊具の設置を実現していきたいと考えている。



笠田高等学校3年 中村 拓翔議員

ピックアップ② 町職員にボランティア活動 参加機会を

問 地域の人の関係づくりが進むよう役所の在り方について考えると、さらに住みやすいまちになるのではないかと考えている。直接的な業務内容以外で、ボランティア等で、町職員が地域の人と接する機会はあるのか。

【企画公室長】 町職員を地区担当職員として、各地区に配置し、職務として地域との連絡調整や地域の実態把握、行政への意向把握、そして行政からの情報発信の活動に努めている。

問 ボランティア休暇を充実させることで、町職員も、社会貢献の機会を多く持つて、さらに町の課題に気づき、町行政に生かすことができるかと考えるがいかがか。

【町長】 直接住民の声を聴く活動は、職員にとって貴重な経験であり、日々の業務につながるかと考えるので、できるだけ直接住民の皆さんと顔が見える関係になるように努めたい。



保護者の声

感心しました
日々の暮らしの中でさまざまなことに目を向け、より良い町にしていくための考察がしっかりと行われていて感心しました。

興味を持ち続けて
町の課題を見つけ解決策を提案できたことは良い経験でした。これを機会に町に興味を持ち続けて欲しいです。

子どもの視点に感心
大人が考え付かないような質問やアイデアに感心しました。町長が丁寧に答弁されていたのが印象的でした。

貴重な経験
今回議場での発言を見て、子どもにとってこれからの人生においてとても貴重な経験になったと思います。



先生の声

当日は堂々と
思いを伝えられるように特に注意して指導しました。当日は堂々と質問や提案をすることができていました。

ふるさとのために
かつらぎ町の現状と課題を調べ、何ができるかを生徒一人一人が真剣に考える良い機会となりました。

全員賛成で

国に2件の意見書を提出

請願第1号

日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める請願書

請願者 #コドソラ

代表 与那城 千恵美

紹介議員 東芝 弘明



普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く 空・水・土の安全の保障を求める意見書

《一部抜粋》

1. 学校上空（普天間小学校、普天間第二小学校、緑ヶ丘保育園）への米軍機の飛行禁止
2. 日本政府の責任において、沖縄県、宜野湾市と連携して普天間第二小学校内の土壌調査の実施及び早急な対応を講じること
3. 普天間の子どもたちを取り巻く空・土・水の安全を保障すること

【提出先】

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

防衛大臣

内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）

陳情第2号

後期高齢者医療保険料に 関する陳情書

陳情者 和歌山県社会保障推進協議会

代表幹事 佐藤 洋一

全日本年金者組合和歌山県本部伊都支部

支部長 村越伊久男

橋本伊都社会保障推進協議会

代表幹事 松浦 憲信



後期高齢者医療保険料を引き下げるための 財政措置を求める意見書

《一部抜粋》

1. 物価高騰から高齢者の暮らしを守るために、国の財政負担割合を引き上げ、後期高齢者医療保険料を引き下げるための財政措置をとること
2. 後期高齢者医療保険料の引き上げを伴う制度改定を中止すること

【提出先】

内閣総理大臣

厚生労働大臣

財務大臣

一般質問

町民のおもいを届ける60分

一般質問は、町政に関する提案や質問を行うもので、持ち時間は1人60分。
記事は質問者が作成したものである。

ページ	質問事項	質問議員
16	被爆2世の2本の移植と活用	 松岡 宏行
17	役場が主体でごみ出しの支援を	 滝ノ上万記
18	アルミサッシの二重窓化を	 東芝 弘明
19	戦争体験を絵本やDVDに残しては	 大山 希世
20	対応マニュアルを変更しては	 新堀 行雄
21	通学路の安全対策に歩道設置を	 藤本 憲一
22	防災減災対策について	 山下 慎二



中阪町長



被爆2世の2本の移植と活用

町長 早急に対応が必要



松岡 宏行 議員



問 被爆2世のクスノキとアオギリの目的、植樹の経過は。

総務課長 平成3年9月12日核兵器廃絶平和都市宣言が議決され、日本非核宣言自治体協議会に加盟し、平成14年樹木譲渡を申し込む。被爆クスノキ2世は日本非核宣言自治体協議会から、被爆アオギリ2世は広島市から譲渡され、平成15年3月に現在の商工会館東側に植栽した。

問 被爆2世の木を教育長は平和教育の教材として活用したいと、以前議会答弁しているが実績は。

教育次長 活用できて

いない。

問 戦後78年、戦争体験者が少なくなる中、平和教育の教材として取り組んでは。

教育長 新たな平和教育の教材として、子どもたちがこの木に触れる機会をつくりたい。

問 植樹後の管理状況は。

参事(総務・厚生担当) 看板を設置しているが、隣接する桜に隠れ人目

に付きにくい状況。植樹の目的を達成させるには植栽場所もさることながら、活用と広報が重要。

問 桜と混在し電線と絡み最悪の状況、移植は可能か。

総務課長 専門業者によると移植は可能。約2年の作業工程が必要で成功率は80%。

問 住民より西部公園へ移植の要望はある



が、他には。

生涯学習課長 西部公園と、かつらぎ公園内の平和祈念館および平和祈念像前の広場周辺。

問 費用は。看板は説明不足では。

副町長 移植費用はかつらぎ公園180万円、西部公園250万円。看板には説明不足があるので検討したい。

問 被爆2世の樹木の目的を達成するため、費用がかかっても移植しては。

町長 このまま成長すると電線、桜の木との接触などがあり早急に対応が必要。かつらぎ公園は平和公園とも呼ばれ、平和祈念像、平和祈念館もあるので早急に検討したい。

子育て応援宣言してさらに充実を

問 医療費、給食費、保育料の無償化など子育て支援に取り組み、人口減少に歯止めがかかりつつある。子育て応援宣言でさらに充実させては。

参事(総務・厚生担当) 宣言のメリットは大きい。まずは子育て世帯が子育てしやすいと感じてもらいたい。

問 町内外に子育てをPRして、町民とともに子育て宣言を作り上げ、宣言しては。

町長 子育て応援宣言は宣伝効果を期待できるが、近隣との整合性を含めて慎重に検討すべき。今は住んでいる皆さんが幸せを感じるまちづくりを進めたい。

役場が主体でごみ出しの支援を

住民福祉課長 必要あれば関係課と調整し対応したい



滝ノ上万記 議員



高齢者は集積場所までごみを持って行けない

問 本町でも独居で暮らす高齢者は年々増えている。独居で暮らす高齢者にとっての課題の一つに、家庭でたまったごみを毎回集積

所まで持って行かなくてはならないという負担がある。独居の高齢者だけでなく、体が思うように動かない身体障害者、精神障害者の人の中にも、家庭ごみのごみ出しで悩んでいる人がいる。さらには、働き盛りで体が元気な世代であっても、病气やけがで入院し、治療が終わって退院してきたは良いが、すぐには今までのように体が動

かない人がいる。そのような人々の中には退院後のごみ出しに苦勞をしているケースがあると聞く。訪問介護や居宅介護により、高齢者や障害者の中でもごみ出しの支援を受けている人はいるが、それらのサービスを受けていない高齢者や障害者は、地域の人々の協力でごみ出しの支援をしているのが現状である。

今後、地域のつながりが希薄化するため、これまでのように支援が受けられないケースが増えると思われる。そこで、行政が主体となり高齢者や障害者、その他のごみ出しに困っている人々に対する支援ができるように今から仕組みをつくるべきであると考えている。町の見解は。

住民福祉課長 今後地域のつながりが希薄化することも予想され、支援が受けられないこ

とも考えられるので、地域の人々とも共有しながら支援が必要であれば関係課と調整し対応したい。

問 トワイライトステイ事業とは「保護者が仕事や地域の行事、疾病などの理由によって家庭において児童を養育することが困難となった場合に、平日または休日の夜間10時まで、町が委託した児童福祉施設等において、一時的に児童を預かる制度」である。

民も少なく利用実績も低い。「子育てしやすいまち」を目指しているのであれば、この事業をもっとPRし、多くの人に知ってもらい、どんどん利用してもらうべき。加えて、働き盛りの世代、ひとり親家庭で頑張る保護者のためにも、もっと利用しやすい制度にすべきではないか。

住民福祉課長 どういったことができるかというのは、研究・検討し、制度の周知についても実施する。

本町においてこのような素晴らしい事業が行われているのに、そのことを知っている町



アルミサッシの二重窓化を

町長 取り入れられたらと考える



東芝弘明 議員

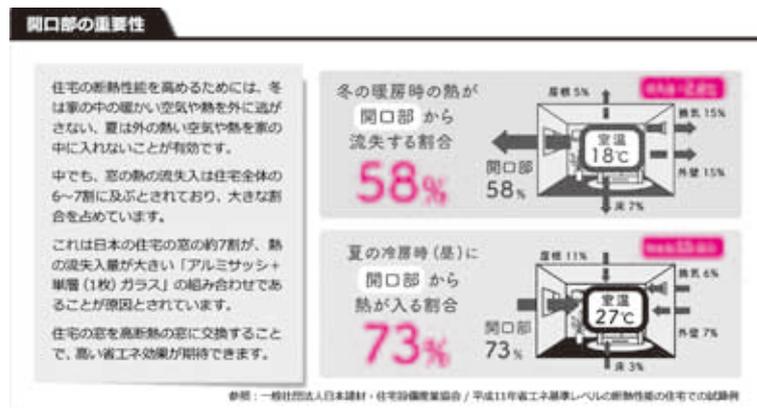


問 アルミサッシの二重窓化で電気はどれくらい削減できるか。
企画公室長 福岡県北九州市役所の実証実験では、窓の複層化による冷房エネルギーの削減率は25%、暖房エネルギーの削減率は38%という結果になった。

問 国はアルミサッシの二重窓に特化した補助金を打ち出した。一戸建て住宅の場合は58%、集合住宅の場合は60%の補助金を交付する。地元の工務店を使えば、1軒当たり5万円もしくは10万円の補助金を設定すれば、大きなインパクトが生まれるのではないか。

町長 温暖化対策に有効な二重窓の補助制度は、今後の補助メニュー

1の中に取り入れられたらと考える。



アルミサッシの二重窓化の効果はバツグン

健康保険証の存続を求める

問 地方分権の立場に立って、国に対しカードの問題点を指摘すべきではないか。

副町長 制度に問題があり、住民の生活に悪

問 医療機関でマイナカードを健康保険証

影響を及ぼすのであれば、国に問題を指摘する。

として認証しているが、2割負担の人が3割負担、20歳なのに2割負担、6歳以下の子どもに対し後期高齢者で現役並みの所得があるの3割負担という例が出てきている。不利益が生じているのではないか。

副町長 国の総点検を注視したい。その上で住民の生活に悪影響を及ぼす、不利益を被るのであれば、国へ意見を上げる。

問 健康保険証へのひも付けは77万件、申請したのに残っている。これで非該当となってしまう医療窓口で10割負担が生じているが。

副町長 大きな悪影響、不利益に該当する。

問 分散管理だとしても全システムを管理するチェック体制を国は取るべきだ。

副町長 個人情報保護の観点の懸念もあり

分散管理が選択された。一元管理にほぼ近いようなシステムを構築するのは反対。

問 2024年秋の健康保険証の廃止が実行されるとどうなるか。
健康推進課長 マイナ保険証を持たない人には資格確認書を職権交付する。サイズは健康保険証と同じカード型やはがき型となる。有効期間は5年以内で保険者が設定する。

問 カードと並行して、健康保険証を存続するほうがコストは安いし、混乱も起こらないのでは。

町長 健康保険証の廃止は決定している。法定受託事務なので、粛々と進めていく。問題点が浮き彫りになってくれば、全国知事会、市長会、町村会と連携しながら、国に意見を述べる。

戦争体験を絵本やDVDに残しては

町長 次世代に伝えることは重要



大山希世 議員



問 戦後78年が経った今、この時代に生きる私たちがするべきことは何なのかを真剣に考えなければならぬ時が来ている。今後の平和学習の展開は、**教育長** 平和は日本だけでなく世界の国々が追求し達成すべき理念。各学校において、地域性を生かし最善の学びを実践している。優良事例は校長会等の機会に情報を共有して広めたい。

問 本町の戦没者遺族連合会の会員状況の変化は。
住民福祉課長 昭和62年には821人、令和5年4月現在では37

8人と半分以下に減少している。会員の高齢化が進んでおり団体の活動や運営は大変厳しい状況。

問 遺族による語り部活動が難しくなっている。戦争体験を絵本に子どもたちが知っている場所、よく行く場所が出てくれば、また違った地域への関心を

持つのではと期待する。例えば、三谷の丹生酒殿神社の大イチョウは多くの人で賑わうようになった。戦時中はこの神社は小学校として使われ、敷地内では食料として芋を植えていたと聞く。また、語り部活動の様子や資料をDVDに編集し、継承資料の一つとすることを提案する。

町長 戦争の歴史や体



験を後世に継承していくということが実際難しくなっている。行政主導ではなく、家族や地域コミュニティと協

力しながら戦争の教訓や記憶を次世代に伝えることは重要であり、取り組んでいかないといけない。

集落支援員の配置を

問 6月2日の豪雨

災害の時の自治区長や住民からの話では、ヒューム管が詰まって水の流れる方向が変わってしまったことが非常に多かった。

確かに耕作放棄地などは普段使わないため、水路の管理が行き届かない。集落支援員が自治区長などと連携しながら平常時から防災・減災に取り組めるのではないかと考える。

- ① 防災・減災対策。
- ② 6月の一般質問での移動支援サポーターとして。
- ③ 若い世代に専門の仕事として取り組んでも

らう。次世代の地域活動の担い手を地域で育てていくという考え方が配置の検討は可能か。
町長 集落支援員に何をしてもらうのかというところからスタートするのでなく、こんな困り事があるので、どうすれば解決できるのかというところからスタートするべきと思っている。



対応マニュアルを変更しては

町長 さらなる体制の強化に努めていく



新堀行雄 議員



問 警報発令時の対応マニュアルにはどのような行動をとるかが書かれている。対応マニュアルはどこで作成されているのか。

教育総務課長 学校や校区の状況によって左右されるため、各学校で作成している。

問 笠田小学校の場合、6月2日午前9時32分に1回目、9時50分に2回目のメールを保護者に送っている。どのような議論が行われ、12時45分から下校することになったのか。
教育総務課長 児童の迎えが相当数昼を超えていることが想定されたので給食の時間を考慮し、

下校時刻を決定した。

問 11時35分に土砂災害警戒情報、11時49分に洪水警報が発令された。下校を早める議論はなかったのか。

教育総務課長 慌ただしく下校準備にとりかかっている最中であり、協議できる状態ではなかった。

問 2回目のメールで12時45分から下校を始めること送っている。



通学路沿いの増水した四邑川

線状降水帯の発生が12時45分頃だ。下校時刻を早めるなどの協議はなかったのか。

教育総務課長 予定どおり下校を開始している時刻であり、検討している余裕はなかった。

問 今回の場合、学校にとどまり、線状降水帯が収まるのを待つのが最善だったのでは。
教育次長 学校にとどまる措置が必要であったと思う。

問 先日、教育長と学校長の連名で「気象状況による緊急対応について」という文書が保護者向けに出されているが。

教育次長 前日から大きな被害が予想される気象情報が出された場合、気象警報が発令されていなくても、あらかじめ翌日を臨時休業にするという内容のものだ。大雨による被害が大きくなっていることを考慮すれば、既存のマニュアルを現状に即したものに改訂する必要がある。

問 各学校には警報発令時の対応マニュアルがあるが、現在のマニュアルでは対応しきれなくなっている。対応マニュアルを変更しては。登校後、警報が発令された場合すぐに下校を始める。警報が出ていなくても休業にする場合がある。線状降水帯の発生が発表さ

れた場合は学校にとどまり安全を確保するなど新たに記載しては。
教育長 各学校と情報共有の強化、安全対策向上に努めたい。対応マニュアルについても現状に即したものに改訂が必要であるので既に指示をしている。

町長 警報発令に関する事前の情報をいち早く収集分析をし、さらなる体制の強化に努めていきたい。

まとめ 私たち大人は子どもたちの安全を一番に考え、命を守る責務がある。十分議論を重ね、子どもたちの安全に全力を尽くしてもらいたい。

通学路の安全対策に歩道設置を

町長 人も車も共存していく整備が必要



藤本 憲一 議員



問 子どもたちの生命を守る交通安全対策も一つの子育て支援という考えから、通学路に歩道を設置することで子どもたちの安全を確保できればと思い、歩道設置を提案する。危険な通学路もあると思うが、点検、見守りはどうしているのか。**教育総務課長** 危険箇所を把握するため「かつらぎ町通学路交通安全全プログラム」により、教育委員会と学校、国・県・町の道路管理者や警察等関係機関とで、合同点検を2年ごとに小中学校区全域で実施している。さらに、集団下校時等に危険箇所を子どもたちと点検

し、注意喚起を促している。通報窓口は、学校または教育委員会へ連絡いただければ。**問** 歩道を設置すれば、町並み景観が大きく変わる。歩道空間により子どもたちの安全が確保されるだけでなく、子ども同士のコミ

ュニケーションの場となる。子育て支援からまちづくりへと発展していくと思うが。**町長** 対策が必要な危険箇所については、緊急度の高いものを優先して、計画的に対策を行っていく。みんなで譲り合いながら道路を利用していく発想が大



歩道があればもっと安全通学できるのに

切。人も車も同じ道路利用者であり、共存していく視点から整備をする必要がある。

図書館に除菌機設置を

問 令和3年6月会議で、不特定多数が利用する図書館の本や資料を安全に利用するため、除菌機設置を提案した。その後図書館の現状は。**生涯学習課長** 除菌機は大腸菌、インフルエンザウイルスには殺菌効果はあるが、新型コロナウイルスは実証データがないという状況で、手間はかかるが返却本を職員がアルコールで拭き取り、除菌を継続した。現在は、新型コロナウイルスが5類に移行されたため除菌は行っていない。

心配事の一つである。職員の効率化も考慮し、再度除菌機の設置を検討しては。**教育長** 除菌機を設置することは、利用者の精神的な安心にもつながることから設置に向け、紀北工業高校に製作を依頼した。学生の技術および探求心の向上や、社会貢献の一環になるとのことで、製作を快諾してもらった。

問 新型コロナウイルスも5類に移行されたが、まだまだ住民にとっては



防災減災対策について

町長 慎重な協議が必要である



山下 慎二 議員



避難所初動運営キット



地域の集会所

問 自主防災組織と連携した防災訓練が行われているか。
危機管理課長 避難所設営訓練や、自宅から指定避難所までの集団移動訓練（実際の災害を想定した）を行い、自分や家族が取るべき行動を時系列に整理し

たマイタイムラインの作成を町内で初めて実施した。

問 区長・役員の負担軽減のために、初動運営キットの配布・設置など、負担軽減を含めた仕組みづくりは。
危機管理課長 初動運営キットが役に立つと考えられる。現在、活用している避難所ボックスがあるが、自主防災組織ブロック別会議において皆さんの意見を聞き、整備方法を研究し、より効果的な導入につなげていきたい。

問 今年6月2日に起きた豪雨災害を受けて、地域の人々から、避難所や地区集会所において改善などの要望がなかったか。

総務課長 地域所有の集会所への意見や要望があった。近くに大きな水路があり、豪雨時には越水の危険性があったり、建屋が非常に古く、耐震性に問題がある。バリアフリー化が不十分であるとの意見があった。

人と動物の共生社会について

問 犬を飼育する場合の登録方法、登録申請する場所、転居、転出および転入の場合の手続きと、現在の登録数は。
環境課長 登録申請は、役場環境課のほか、伊都橋本管内の協力動物病院でも手続きが可能である。犬が転居、転出および転入をするときは、登録事項変更届を届け出なければならぬ。犬の登録数は、令和4年度末で1222頭である。

するにあたり、保健所をはじめとする関係機関と情報共有を密に行い、一緒になって現場対応にあたっている。

問 飼い主のマナー向上のために、「動物マナー講座」を開催すればどうか。
生涯学習課長 動物のマナー講座は、動物を飼う上で大事なことがある。施設の開放や施設利用許可証の発行は、動物を苦手とする利用者の立場も考慮し、慎重に検討していかなければならない。

問 適正飼育の推進を促すため、関係機関との連携をどう進めているか。
環境課長 適正飼育を推進するため、犬・猫の避妊・去勢手術補助金の交付や、各種啓発看板の設置などを行っている。各事業を推進

問 空き家利用など助成事業以外に考えがあるか。
町長 補助金や助成金で、自治区・町内会が建設するスタンスは、基本的には変わらない。しかし、町が保有する役割を終えた建物を提供していくということも一つの方法でもある。他の補助金との整合性もある。ただし、検討の余地はあるものの慎重な協議が必要である。

している。各事業を推進

令和5年度

町民の声を議会運営に反映するため、議会モニター制度を実施している。提出された感想等レポートの一部を原文のまま抜粋し掲載する。

議会モニターの声



議会だよりキャラクター
「かきかあちゃん」

本会議

庁舎建て替え問題、建て替えの発案、この問題の経緯（歴史）、計画の進み具合と質問されたので、初めて聞く者にも非常によくわかりました。この問題は、町作りにも関わるものだし、経費も非常にかかります。この議会でのやり取りを随時町民にも知らせ、広く意見を聞きながら、町民と共に計画を推進していくべきだと思います。

(60代男性)

2階の傍聴席は、クーラーが効きすぎで寒かったです。設定温度を調節して、電気代を少しでも節約して下さい。

(60代男性)

今回の議題は一般町民には理解しにくい内容であったと思います。したがって事前に委員会などで十分討論してお互いに理解を深め、町民が聞いてもわかるようなレベルにまでしていただく必要があると思います。

(70代男性)

議会だより編集特別委員会

説明や言葉がわかりやすかった。会議は、短時間で密度濃く、スムーズに進んだ。これは、会議としてとても大切なことだと思う。

(60代男性)

子ども議会を町誌・議会だよりでそれぞれとり上げると結論されていたように思いますが、基本に基づいて丁寧に討論されているのを感じました。

(70代女性)

議会ホームページを見て



今まで配信を見たことはありませんが、これからはこの機会に一回でも映像や内容を読んでいきたいと思っています。

(70代女性)

表紙写真紹介



かつらぎ町パークゴルフ協会さくら会では、数あるパークゴルフ場の中でも誇れる西部公園で、子どもをはじめ高齢者までの健康と友愛を第一として、月例会を開催しプレーを楽しんでいる。9月10日開催時に集まってもらい撮った1枚。

議会だよりを読んで (98号の掲載記事)

“議会だより”は、固苦しく読み辛いイメージがありました。殆どしっかり読んだ事はないように思いますが、どうしてかなと考えてみても政治的な難しい専門の言葉、内容、私達の生活に一番近い所なのに、深く考えられなくて遠ざけていました。今しっかり読ませて頂き、議員さんのとり組みや勉強されていることを知ることが出来ました。

(70代女性)



紹介

がんばる人



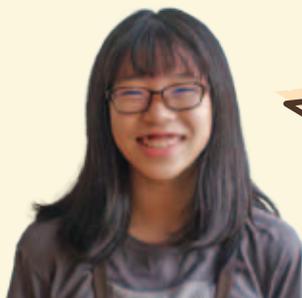
これからの「かつらぎ町」を担うのは君だ!

次世代シリーズ「がんばる人」は、スポーツや文化活動などで頑張っている子どもたちを紹介します。学校の中だけでなく、さまざまな分野で一生懸命に取り組む姿を応援します。

- ①今、頑張っていること
- ②始めたきっかけ
- ③将来の夢
- ④かつらぎ町の好きなところ



妙寺小学校6年
いのうえ えり
井上 愛理さん



- ①受験に向けて勉強を頑張っています。
- ②私立の学校や受験をすすめられたからです。
- ③患者さんの気持ちに寄り添えるお医者さん。
- ④自然が豊かで、おいしいフルーツがいっぱいあるところです。

梁瀬小学校3年
うえだ まほ
上田 茉穂さん



- ①大ステージで南中ソーランをおどることです。^{なんちゅう}
- ②1年生のときから子ども会で楽しんでいます。
- ③花が好きだから花屋さんになりたいです。
- ④いろんなフルーツがおいしいところです。



笠田中学校3年
にしうら
西浦 ひなたさん



- ①駅伝に出場できるよう走りを鍛えています。
- ②小学生の時に駅伝の練習に参加したことです。
- ③周囲に元気を与えられる人になりたいです。
- ④大好きな柿が食べられるところです。

